



文献管理ツールを利用してみよう！

引用文献データベース  
Web of Science

文献管理ツール 講習会を開催！！  
EndNote Basic



日時：2013年7月17日（水）

時間：16:20-17:50

場所：理学研究科6号館南棟2F 208号

対象：学内者

（ECS-IDまたはSPS-IDをお持ちの方）

申込み不要・定員30名

文献管理ツールって何？

そんなあなたは、  
今すぐチェック！！



京都大学農学部図書室へようこそ。

このニュースでは、農学部図書室の案内を中心に、京大内の情報探索のヒントを掲載していきます。

今回は少し趣向を変えて、文献管理ツールについて案内します。

皆さんは日々増え続ける論文情報、PDFをどのように管理していますか？今回案内する文献管理ツールとは、Web上で文献情報のリストを作成し、管理します。さらに効率的な管理にとどまらない、様々な機能を持っています。

京都大学では、右で紹介している通り、Web上で利用する、RefworksとEndNoteWebの2種類の文献管理ツールを契約し、提供しています。

文献管理ツールは、他にも有料のPapersや、無料のMendeley等があります。また、PCにインストールして利用するタイプもあります。

京都大学図書館電子リソースヘルプ (<http://edb.kulib.kyoto-u.ac.jp/erhelp/citation.html#4>)でも、いくつかのソフトを紹介しています。

試してみて、好みに合うツールを見つけてみましょう！



ビエール

京都大学農学部図書室 075-753-6016  
**HP** : <http://www.agril.kais.kyoto-u.ac.jp/>  
**Facebook** :  
<https://www.facebook.com/agrilibku>

## 文献管理ツールを利用してみよう！

文献管理ツールを使うと、こんなことが簡単にできます！

### ○各種論文データベースから、論文情報などを取り込む

Web of ScienceやSciFinderの論文情報、KULINEの書誌情報やホームページのURL情報等を取り込みWeb上でリスト化します。

### ○執筆論文の参考文献リストを、投稿先の書式に合わせて作成する

論文を執筆する際、収集したリストから該当論文を選択し、参考文献リストを簡単に作成することができます。

### ○文献の情報を、研究室内で共有する

### ○インターネットにアクセスできれば、学外でも学内でも利用できる 等々



### RefWorks(レフワークス)

#### ○登録方法

<http://edb.kulib.kyoto-u.ac.jp/erhelp/citation.html#refworks> (京都大学図書館電子リソースヘルプ-Refworks)  
 上記URLの手順で、ユーザー登録を行ってください。

○学外からのアクセスはShibboleth認証を使う方法と、グループコードを使う方法があります。

○卒業生も使うことができます。

○PDFファイルを5GBまでアップすることができます。

### ENDNOTE® BASIC EndNote Basic(エンドノートベーシック)

#### ○登録方法

<http://edb.kulib.kyoto-u.ac.jp/erhelp/citation.html#endnoteweb> (京都大学図書館電子リソースヘルプ-EndNoteWeb)  
 上記URLの手順で、ユーザー登録を行ってください。

(注)学外からもアクセスできますが、登録は学内から行ってください。

○取り込んだ論文は、Web of Scienceで検索した時に、アイコンが表示されます。

○PDFファイルを2GBまでアップすることができます。

○京大に所属しなくても、使うことができます(参考文献リスト作成時の投稿書式数に制限があります)

#### Tips

RefWorksは、2013年7月26日(金)10:30-12:00に附属図書館で講習会があります(申込制)。  
<http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/modules/bulletin/index.php?page=article&storyid=1226>  
 こちらにも是非ご参加ください。